

経済システムへの考察

黒田インターナショナル

黒田 毅

生存と供給という、経済原則は競争と自由貿易において、世界の現実を与える。これらは、需要と供給への自助作用の信奉する自由市場の信奉者を生んだのである。これがビジネスにおけるダイナミズムとして若者たちの参加を与えたのである。

生存を離れることは、必ず人類における進歩なのである。動物性は、生存を原則とし、人類は知性を有するため正しいのである。

これらは、自由経済は富の創造の手段であることは、企業が利益を追求することを企業使命として有することを表すのである。

これらは競争という現実における勝者への賞賛が現実を与えるのである。

これら自由経済システムは、競争と勝者の世界であり、王たちがそれを行うのである。

経済の使命は他方において社会の進歩と生活物資の共有を求められる。この需要と供給における原則は、競争と自由市場とともに、現実におけるすべての人々の参加を有するのである。

これら対立と競争、勝者の論理が存在し、他方においては、協調と融和という理想が存在する。

これら葛藤と矛盾は、人間の欲望への肯定と否定という、善悪論において証明されるのである。

競争は、その進歩を与え、向上を永続する。他方においては落伍者という社会的尺者を与えるのである。これらエリートはその賞賛を受け、児童への教育は、人間的な成長でなく、社会における判断なのである。

これら競争は、戦争における過去の遺産であると考えられる。融和と協調における新しい世界はその統一性とともに未来の創造を可能として有するのである。